

赤穂市子どもの生活実態に係る社会資源調査

記載について

- ① 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。○の数は、設問毎に1つの場合と複数の場合があります。また、自由記述の設問には具体的にお答えください。
- ② 本調査で記載している「困窮家庭」および「ヤングケアラー」は、18歳未満の子どものいる世帯として、ご記入ください。
- ③ ご記入いただきました調査票は7月12日（金）までに市役所子育て支援課まで郵送または持参にてご提出ください。
- ④ アンケートに記載いただいたご意見や問い合わせには、回答できませんのでご了承ください。
- ⑤ アンケート調査の結果は、ホームページ等を通じて公表する場合があります。
- ⑥ 調査票の記入について不明な点は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】赤穂市健康福祉部子育て支援課

電話 (0791) 43-6808 FAX (0791) 43-7138

機 関 名	記 入 者 名

問1 貴機関において、日々の業務の中で、経済的に困窮していると思われる家庭（困窮家庭）の子どもや保護者に接することがありますか。（1つに○）

1. ある 2. ない →問5へ

問1で「1. ある」と答えた方

問2 困窮家庭には、具体的にどのような状況がありますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 給食費の支払いができない | |
| 2. 修学旅行等、必要な会費の支払いができない | |
| 3. 制服、体操服など必要なものを買うことができない | |
| 4. 他の子ども達が持っているものを持っていないことが多い | |
| 5. 子どもの学習面、発達面に課題がある | |
| 6. 不登校等であったり、決まった時間に通所できない | |
| 7. 日常的に家事や家族の世話等を行っている（ヤングケアラー） | |
| 8. お風呂に入れていない | 9. 清潔な服装、身なりをしていない |
| 10. 季節にあった服装をしていない | 11. 朝食や夕食を食べさせていない |
| 12. ひとり親家庭である | 13. 生活保護を受給している |
| 14. 保護者との意思疎通が困難な場面がある | 15. 多子世帯である（子どもが3人以上） |
| 16. 保護者が就労していない | 17. 身近に相談できる人が少ない |
| 18. 児童虐待の兆候が見られた | |
| 19. その他 | |

問1で「1. ある」と答えた方

問3 これまでに困窮家庭の子どもと関わる中で、特に印象に残った子どもの状況について具体的に教えてください。（過去3年間程度でお答えください）（自由記述）

問1で「1. ある」と答えた方

問4 困窮家庭の子どもや保護者に対し、これまでどのような支援を行っていますか。
（過去3年間程度で具体的に記入してください。）（自由記述）

子どもへの支援

保護者への支援

問5 困窮家庭の子どもや保護者を支援する中で、これまでに効果的だったと感じる取組みがあれば教えてください。（自由記述）

問6 困窮家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援が必要だと思いますか。(5つまで○)

1. 食糧支援(フードバンクなど)
2. 学校内での学習支援(学校が行う補習など)
3. 学校外での学習支援(無料学習塾など)
4. 保護者への相談支援(生活相談、カウンセリングなど)
5. 自然体験や集団遊びなど様々な活動機会の提供
6. 不登校や引きこもりなどの子どもの支援
7. こども食堂を始めとした子どもの居場所づくり
8. 生活保護や就学援助以外の経済的支援
9. 保護者の就労支援
10. 高等学校中退の子どもに対する就労支援
11. 困窮家庭の子どもの早期発見のための新たなネットワークの確立
12. 健全な食習慣や生活習慣を形成するための支援
13. 家事支援(食事準備、掃除、洗濯などのサポート)
14. その他

問7 貴機関において、日常的に家事や家族の世話等を行っていると思われる子ども(ヤングケアラー)に接することがありますか。(1つに○)

1. ある 2. ない →問10へ

問7で「1. ある」と答えた方

問8 貴機関において、ヤングケアラーと思われる子どもであると気づいたきっかけを教えてください。(自由記述)

問7で「1. ある」と答えた方

問9 ヤングケアラーには、具体的にどのような状況がありますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 欠席、遅刻、早退が多い | 2. 不登校である |
| 3. 精神的な不安定さがある | 4. 提出物が遅れがち |
| 5. 持ち物がそろわない | 6. 学力が低下している |
| 7. 身だしなみが整っていない | 8. しっかりしすぎている |
| 9. 周囲の人に気を遣いすぎる | 10. 宿泊行事等を欠席する |
| 11. 校納金が遅れる、未払い | |
| 12. その他 | |

問１０ 困窮家庭の子どもや保護者及びヤングケアラーに対する支援を行う中で、特に悩んだり困ったことはどのようなことですか。（当てはまるものすべてに○）

- １．支援したいが、その方法がよくわからなかった
- ２．相談をつなげる機関がわからなかった
- ３．支援を行うための十分な予算がなかった
- ４．職員が多忙で十分な支援ができなかった
- ５．支援をしたいが、家庭との信頼関係が築けなかった（支援を拒否された）
- ６．支援するための体制が整っていなかった
- ７．その他

（

）

問１１ 困窮家庭の子どもや保護者及びヤングケアラーに対する支援を行う上で、連携している機関や団体などがありますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|------------|
| １．医療機関 | ２．弁護士会 |
| ３．民生委員・児童委員 | ４．主任児童委員 |
| ５．赤穂健康福祉事務所 | ６．社会福祉協議会 |
| ７．姫路こども家庭センター（児童相談所） | ８．小・中学校 |
| ９．幼稚園・保育所 | １０．特別支援学校 |
| １１．保護者会・ＰＴＡ | １２．市子育て支援課 |
| １３．市社会福祉課 | １４．市保健センター |
| １５．教育委員会（青少年育成センター含む） | １６．警察 |

１７．ハローワーク

１８．民間機関（名称：

）

１９．その他

（

）

２０．特になし

問１２ 困窮家庭の子どもや保護者及びヤングケアラーの支援について、ご意見等があればご自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。